

## 抗 Nob1 (*S.cerevisiae*) 抗体, ウサギポリクローナル

62-211 100 µl

**保存:** 4℃または-20℃で送付、-20℃で保存。

**免疫原:** *E. coli* に発現させたリコンビナント酵母 Nob1p タンパク質

**形状:** リコンビナント酵母 Nob1 タンパク質でアフィニティ精製した IgG in PBS-, 1 mg/ml BSA, 0.09 % sodium azide, 50% glycerol

**反応性:** *S. cerevisiae* Nob1 タンパク質。他の種はテストしていない。

**用途:**

- 1) ウェスタンブロッティング (~400 倍希釈)    2) 免疫沈降

その他の用途は試されていない。

**背景:** プロテアソームはユビキチンで修飾されたタンパク質を分解する酵素である。活性型の 26S プロテアソームはタンパク質分解実行ユニットである 20S プロテアソームの両端に、それを制御する 19S 複合体が会合した巨大な分子複合体である。ユビキチン-プロテアソームによる分解システムは、傷害を受けたり、ミスフォールドしたタンパク質を除去するのみならず、細胞周期制御、免疫応答、シグナル伝達といった細胞内の様々な働きに関わっている(文献 1)。**Nob1** は 26S プロテアソームの構築に必要な核タンパクであり(文献 2)、核内で 20S プロテアソームを 19S 複合体に結合させるシャペロンとして働いていると推察され、26S プロテアソームの成熟に伴って分解されて消失する(文献 3)。**Nob1** タンパク質は 459 のアミノ酸から成る。

**データリンク:** SGD [NOB1/YOR056C](#)

**関連製品:** # 62-201 anti-Rpn3, #62-203 anti-Rpn5, #62-205 anti-Rpn7, #62-207 anti-Rpn9, #62-209 anti-Rpn12, #62-213 anti-Nas6, #62-215 anti-Tem1

**文献:** この製品は文献 2 と 3 に使用された。

- Hershko A and Ciechanover A THE UBIQUITIN SYSTEM *Annu Rev Biochem* **67**: 425-479 (1998) PMID: [9759494](#)
- Tone Y *et al* "Nob1p, a new essential protein, associates with the 26S proteasome of growing *Saccharomyces cerevisiae* cells." *Gene* **243**:37-45 (2000) PMID: [10675611](#)
- Tone Y and Toh-e A "Nob1p is required for biogenesis of the 26S proteasome and degraded upon its maturation in *Saccharomyces cerevisiae*." *Genes & Dev* **16** :3142-3157 (2002) PMID: [12502737](#)

図 1 この抗体を用いたウェスタンブロッティングにより、*S. cerevisiae* 粗抽出液において Nob1p (51.7kD) を検出した。

